

外来植物の侵入防止対策について

外来植物の侵入防止のため、新たな入口に靴洗い場を設置する必要性が指摘されている。現地調査および他地域の事例収集を行い、羅臼湖での望ましい外来植物の侵入防止対策を検討した。

1. 羅臼湖における外来植物の侵入防止対策の検討

外来植物の侵入防止対策の検討のため、利用可能な沢水の位置等について現地調査を実施した。その結果、入口付近において、シーズンを通じてある程度の水量が確保できるとされる沢は入口から約200m離れていた。また入口と沢との高低差は約12mであった。他地域の事例収集及び現地調査の結果を踏まえ、羅臼湖では以下の3案が考えられる。

①施設整備による沢水、雨水の利用

水とブラシで徹底的に洗浄できる設備がもっとも望ましいが、現地に上水道はないため現実的ではない。ただし、沢水を利用し入口まで配管して導水する案や、雨水や知床横断道路の道路排水を貯水タンクに溜めて使用する案が考えられる。また、沢水の渇水期対策として、両案の併用も想定される。なお、入口に洗浄のためのスペースを確保し、グレーチングやブラシを設置することが必要である。施設や配管の一例（添付図面1, 2）を挙げる。

本案は、施設の整備（配管や貯水タンク、グレーチングの設置等）及びメンテナンス（取水マスや配管、タンクの維持管理）にコストがかかる点、景観に支障がある点がデメリットとして挙げられる。

②新たなルート設置による沢水の利用

入口から沢と知床横断道路がぶつかる地点までのルートを新規に整備し（添付図面3）、河床に降りてブラシなどで洗うことも考えられる。

本案は、新規に整備したルートに利用者を誘導させる対策が必要であるとともに、渇水期対策等が課題として挙げられる。また、知床横断道路沿いのルート約160mを新たに整備する必要があるため、自然環境の改変が必要となる。

③グレーチング等の設置による払い落とし

地面に直接グレーチングを並べて靴底のドロなどを除去してもらう方法は歩道が軟弱で効果がないだろう。平成24年に整備された歩道のなかでグレーチングを使用したものがあるが、それと同じものを入口に設置してマットと組み合わせる方法は効果があると考えられる。（イメージ1）

本案は、施設の設置やメンテナンスにはほとんどコストがかからないと考えられるが、外来植物の侵入防止効果は水を用いて洗浄する①、②の方が高い。



イメージ1 グレーチング敷設

2. 羅臼湖における望ましい外来植物侵入防止対策について

羅臼湖においては、維持管理やメンテナンスを考慮するとあまり大掛かりな設備は現実的ではないと考える。

簡易的な設備でも外来植物の侵入防止には一定の効果があると思われるため、1. ③で示したグレーチング等の設置による払い落とし等の簡易的な設備を設置する方向で検討したい。

また、ガイドツアーについては、ガイド事業者が事前に同時に長靴の洗浄を実施していると思われるため、ガイドツアーの利用を推奨するとともに、一般利用者に対しては、外来植物の侵入防止のため事前に長靴を洗浄することの必要性について普及啓発を図りたい。

3. 北海道内の事例収集と分類（参考）

特定の区域内に対して外来植物の種子などを持ち込まないための設備などについて、北海道内では次のような先行事例がある。

- ・アポイ岳・・・登山口からすぐの沢での靴の洗浄。
- ・雨竜沼湿原・・・湿原入口の沢での靴の洗浄。
- ・大雪山 高原温泉・・・ヒグマ情報センターを過ぎて最初の沢での靴の洗浄。
- ・利尻山 鷲泊ルート 利尻北麓野営場・・・グレーチング付階段およびホース付ブラシのついた水道付専用設備の整備。
- ・知床世界遺産センターの施設入口など・・・登山道等の入口に隣接する施設出入口等へ設置されたグレーチングやマット、水道、ブラシなどで洗浄。また消毒液などを染みこませたマットで靴底を消毒する方法。

その他の地域においても雨天時下山後で汚れた靴を洗浄する目的で登山口周辺に靴洗いが設定されている所は多く（羅臼岳岩尾別登山口 等）、外来植物侵入防止を意識している登山者にはその目的での入山前利用も可能である。また、今回の事例収集では設置目的が明確にわからなかったが、西別岳登山口や大雪山の姿見駅でも対策が取られている。

次に、靴底のパターンに詰まっている種子などを含んだ土砂を除去する方法を分類した。

A) 水とブラシを組み合わせ洗い流す

B) グレーチングで払い落とししたり、マットでこすり落とす

また、設備の規模などで次のように分類できる。

a) 河川をそのまま利用するなど自然を利用しているもの

b) 既存の歩道入口にマットを敷いたり、水桶を配置するなど簡易に整備されたもの

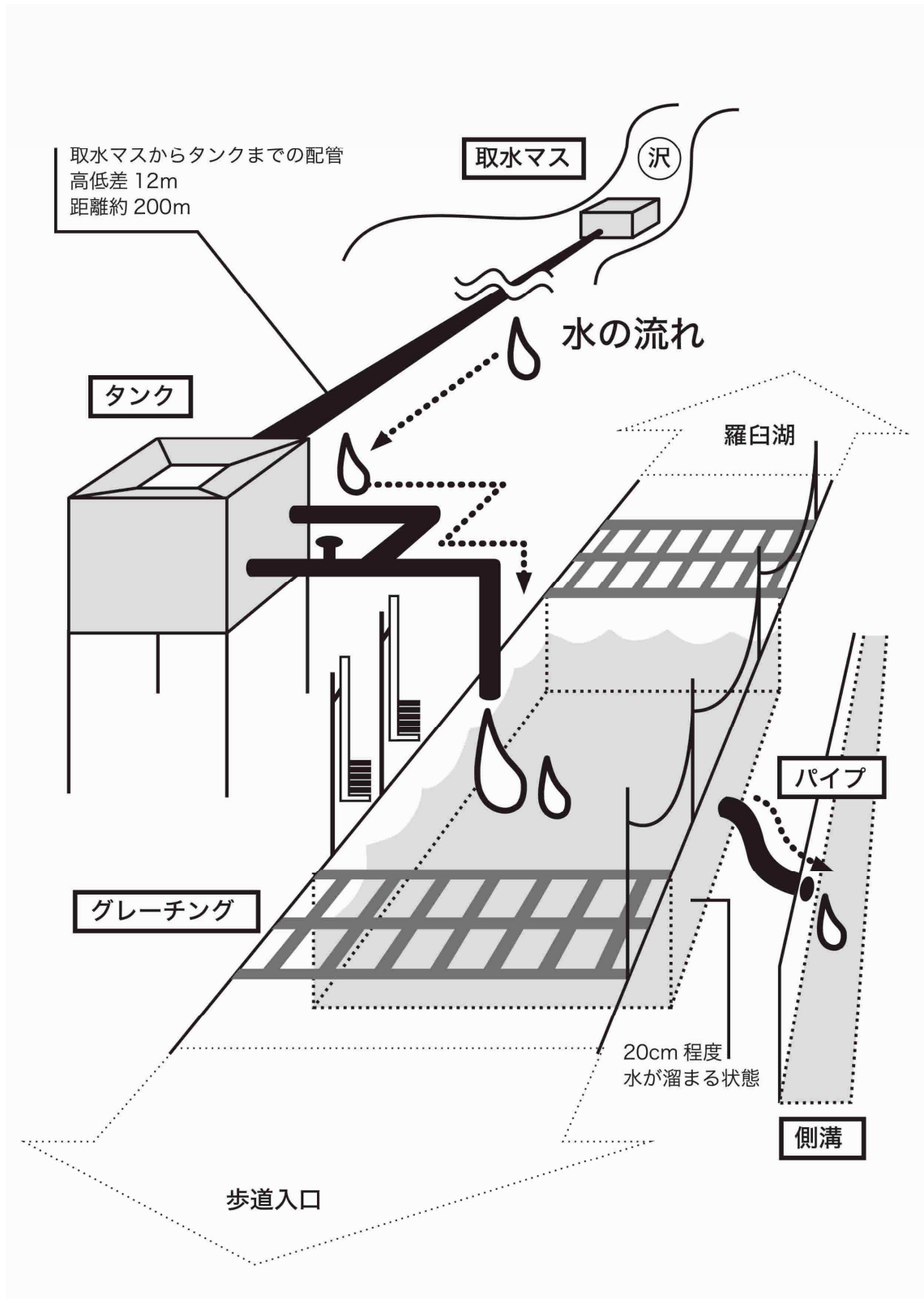
c) 水道設備やグレーチング付の歩道など専用に整備されたもの

上記により、北海道内の先行事例は以下の表のとおり整理できる。

	a. 自然を利用	b. 簡易	c. 専用施設
A. 洗い流し	自然の河川の流れの中で洗浄できるようブラシ等を配置	既存施設入口等に水を貯める桶、ブラシ等を配置	水道とグレーチング等排水設備のある専用施設
B. 払い落とし こすり落とし		既存施設入口等にグレーチングやマットなどを配置	グレーチング付歩道などの専用施設

表 土砂の除去方法と設備の分類

添付図面 1 歩道入口まで配管した施設の一例



添付図面 2. 入口まで配管する場合の位置図



添付図面 3 沢から入口までの新たなルート例

